



Sun Java System Web Proxy Server 4.0.4 リリースノート (Windows 版)



Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 820-1837
2007 年 2 月

本書で説明する製品で使用されている技術に関連した知的所有権は、Sun Microsystems, Inc. に帰属します。特に、制限を受けることなく、この知的所有権には、米国特許、および米国をはじめとする他の国々で申請中の特許が含まれています。

U.S. Government Rights – Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本製品には、サードパーティーが開発した技術が含まれている場合があります。

本製品の一部は Berkeley BSD システムより派生したもので、カリフォルニア大学よりライセンスを受けています。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびにほかの国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、docs.sun.com、Java、Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。Sun のロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPEN LOOK および SunTM Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカルユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK GUI を実装するか、または米国 Sun Microsystems 社の書面によるライセンス契約に従う米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

この製品は、米国の輸出規制に関する法規の適用および管理下にあり、また、米国以外の国の輸出および輸入規制に関する法規の制限を受ける場合があります。核、ミサイル、生物化学兵器もしくは原子力船に関連した使用またはかかる使用者への提供は、直接的にも間接的にも、禁止されています。このソフトウェアを、米国の輸出禁止国へ輸出または再輸出すること、および米国輸出制限対象リスト(輸出が禁止されている個人リスト、特別に指定された国籍者リストを含む)に指定された、法人、または団体に輸出または再輸出することは一切禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われないものとします。

目次

1 Sun Java System Web Proxy Server のリリースノート	5
プラットフォームサマリー	5
マニュアルへのアクセス	6
障害を持つユーザー向けのアクセシビリティ機能	6
修正済みの問題	7
既知の問題点	7
CLI を使用して Web Proxy Server インスタンスを停止するとエラーメッセージが 生成される (6499720)	7
Web Proxy Server サービスがアップグレード後にアップグレードされたバー ジョン情報を表示しない (6499700)	8
マシンを再起動しないと Web Proxy Server サービスを開始できない (6471698)	8
問題の報告とフィードバックの方法	9

Sun Java System Web Proxy Server のリリースノート

このリリースノートには、Sun Java™ System Web Proxy Server 4.0.4 製品 (以後 Proxy Server 4.0.4) がリリースされた時点で利用できる重要な情報が含まれています。ここでは、プラットフォームの概要と既知の問題について説明します。この製品を使い始める前に、このドキュメントおよび関連ドキュメントをお読みください。

このリリースノートには、次の内容が含まれています。

- 5 ページの「プラットフォームサマリー」
- 6 ページの「マニュアルへのアクセス」
- 7 ページの「修正済みの問題」
- 7 ページの「既知の問題点」
- 9 ページの「問題の報告とフィードバックの方法」

プラットフォームサマリー

この節では、Proxy Server 4.0.4 のコンポーネントのプラットフォーム要件とサポートされているブラウザについて説明します。

次の表は、Proxy Server 4.0.4 プラットフォームの要件についてまとめたものです。サポートされているオペレーティングシステムに Web Proxy Server を移動または移行するために必要な措置を講じてください。

表 1-1 Web Proxy Server 4.0.4 のプラットフォーム要件

オペレーティングシステム	最小メモリ	推奨メモリ	推奨するディスク容量*
Windows 2000 Advanced Server SP4	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Windows XP SP2	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上

表 1-1 Web Proxy Server 4.0.4 のプラットフォーム要件 (続き)

オペレーティングシステム	最小メモリ	推奨メモリ	推奨するディスク容量*
Microsoft Windows 2003 Enterprise Server SP1 (32 ビット)	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Microsoft Windows 2003 Enterprise Server SP1 (64 ビット)	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上

* キャッシュ容量の設定によって異なります。デフォルトのキャッシュ容量設定は 2G バイトです。

Web Proxy Server 4.0.4 でサポートされているブラウザは、次のとおりです。

- Microsoft Internet Explorer 6.0
- Netscape™ Navigator バージョン 7.1 および 6.2
- Mozilla バージョン 1.5.1 および 1.7.2

ブラウザは Java に対応している必要があります。

マニュアルへのアクセス

Sun Java System Web Proxy Server 4.0.4 のマニュアルおよびリリースノートは、<http://docs.sun.com> から HTML 形式および印刷可能な PDF 形式で入手できます。オンラインヘルプについては、グラフィカルインタフェースの「ヘルプ」ボタンをクリックすると、コンテキストヘルプウィンドウが開きます。

障害を持つユーザー向けのアクセシビリティ機能

このメディアの出版以降にリリースされたアクセシビリティ機能を入手するには、米国リハビリテーション法 508 条に関する製品評価資料を Sun に請求し、その内容を確認して、どのバージョンが、アクセシビリティに対応したソリューションを配備するためにもっとも適しているかを特定してください。最新バージョンのアプリケーションは、次のサイトで入手できます。<http://sun.com/software/javaenterprisesystem/get.html>。

アクセシビリティに対する Sun の取り組みについては、<http://sun.com/access> を参照してください。

修正済みの問題

次の表に、Sun Java System Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題を示します。

表 1-2 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題

ID	サマリー
6433807	Proxy Server および Admin Server の起動メッセージのバージョン番号の違い
6478106	Proxy Server では、スペースが含まれるディレクトリなど、Windows 上でのデフォルトの場所のインストールをサポートする必要がある
6470294	cbuild.exe を実行してキャッシュセクションを減らそうとしても、Windows ではセクションが正常に削除されない

既知の問題点

- 7 ページの「CLI を使用して Web Proxy Server インスタンスを停止するとエラーメッセージが生成される (6499720)」
- 8 ページの「Web Proxy Server サービスがアップグレード後にアップグレードされたバージョン情報を表示しない (6499700)」
- 8 ページの「マシンを再起動しないと Web Proxy Server サービスを開始できない (6471698)」

CLI を使用して Web Proxy Server インスタンスを停止するとエラーメッセージが生成される (6499720)

Java ES™ version 4 Web Proxy Server から Java ES 5 Web Proxy Server へのアップグレード後に、ユーザーが stopsvr.bat コマンドを使用して Web Proxy Server インスタンスを停止しようとする、次のようなエラーメッセージが表示される。

```
The Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 (proxy-server1) service is stopping..
A system error has occurred.
System error 1067 has occurred.
The process terminated unexpectedly.
The Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 (proxy-server1) service was
stopped successfully.
```

対処方法:ありません。

Web Proxy Server サービスがアップグレード後にアップグレードされたバージョン情報を表示しない (6499700)

Java ES 4 Web Proxy Server から Java ES 5 Web Proxy Server へアップグレードしたあと、「サービス」パネルの Web Proxy Server サービスのバージョン情報が更新されません。ただし、管理コンソールとバージョン画面にはアップグレード後のバージョンが表示されます。

対処方法:ありません。

マシンを再起動しないと Web Proxy Server サービスを開始できない (6471698)

Web Proxy Server 4.0.4 のインストール後、Web Proxy Server サービスは自動的に開始されません。

次に示す回避方法のいずれか 1 つを実行してください。

1. Web Proxy Server 4.0.4 のインストール後に、マシンを再起動してプロキシサービスを開始します。
2. 次のステップを実行して、マシンを再起動せずに、Web Proxy Server サービスを再起動します。
 - a. 「コントロールパネル」、「管理ツール」、「サービス」の順に選択し、サービスコントロールマネージャを開きます。
 - b. 次のサービスのどれか 1 つを選択します。
 - Sun Java System Socks Server 4.0.4
 - Sun Java System Web Proxy Server 4.0.4
 - Sun Java System Web Proxy Server 4.0.4 Administration Server
 - c. マウスボタン 3 を押して、ポップアップメニューから「プロパティ」を選択します。
 - d. 「ログオン」プロパティータブをクリックします。
 - e. プロパティの値を「LocalSystem」から現在ログオンしているユーザーに変更します。
現在のユーザーのユーザー名とパスワードを入力します。
 - f. 「適用」をクリックします。
 - g. 「了解」をクリックします。
 - h. ステップ b ~ d を繰り返して、すべての Web Proxy Server サービスを開始します。

問題の報告とフィードバックの方法

Sun Java System Web Proxy Server 4.0.4 の使用にあたって問題が発生した場合は、以下のいずれかの方法で Sun のカスタマサポートにお問い合わせください。

- ◆ 次の URL の Sun Software Support サービスオンライン
<http://www.sun.com/service/support/software>
- ◆ 保守契約に対応した電話番号

次の情報をお知らせください。

- ◆ 問題の詳細な内容 (発生状況や業務への影響の度合など)
- ◆ マシンのタイプ、OS のバージョン、および製品のバージョン (問題に関連している可能性のあるパッチやその他のソフトウェアを含む)
- ◆ 問題を再現するための詳細な手順
- エラーログまたはコアダンプ

◆ Sun では、マニュアルの改善に努めており、皆様のご意見、ご提案を歓迎いたします。◆ ご意見は <http://docs.sun.com/app/docs/form/comments> からお寄せいただくことができます。

